



## 会からのお知らせ

## お花見会

春だ！ お花見だ！ 全員集合

日時 4月1日（日） 11:00～15:00

（出来るだけ開始時間にお集まりください）

場所 狭山公園の外（昨年と同じ場所）

取水塔の西側駐在所付近

Wの小旗を掲げてあります

★ 西武多摩湖線武蔵大和駅から坂を250メートル上がった左側草原 徒歩約5分

★ 西武多摩湖線西武遊園地から公園内を約500メートル 徒歩約8分

会費 1人 2,000円（家族無料）

### 雨天の場合は中止です

★ 中止の場合の問い合わせは当日午前9時までに事務局小亀までご連絡ください。

TEL: 042-394-6951

### ○4月度定例役員会

日時 4月7日（土）13:30～16:30

場所 ふるさと歴史館 研修室

13時よりニュース封入作業があります

会員の方はどなたでもご出席ください（大歓迎）

### ○4月度お誕生会（担当 芦田）

日時 4月7日（土）17:00～19:00

場所 割烹 丸藤（久米川駅近く）

\* 4月度お誕生の方々（敬称 略）17名

石井久長・久世利夫・小菅宏・重久和彦・柴田元・高橋文子・滝川正義・土橋雄次

當間昭治・中村皓一・中村真弓・成田延雄・額田伊久夫・松澤宏・森川節子・八木勝利

吉高太郎

### ○第51回東村山雑学講座

日時 5月12日（土）15:00～16:30

場所 未定（4月号でお知らせします）

テーマ 三都の商い文化今昔

東京の暮らしの中のどこかに息づく江戸気質や商い文化の歴史をたどり、江戸・京都・大阪の三都について商いの気風の違い、消費者気質今昔を語る

講師 慶応義塾大学名誉教授・経済学博士 白石孝氏



## ○新入会員

尾上 友男さん (平成9年商)

〒189-0022 野口町1-22-16-306 TEL 042-396-6099

## ○2月度に稲門会会費を納入いただいた会員は以下の方々です(2月23日現在 敬称略)

伊川浩生、大村進、小川靖郎、尾島敏雄、尾上友男、久保栄二、柴田元、関一誠  
 辰巳慎次、丹野寛、長島文男、西村守正、野中昭夫、服部俊久、樋地正秀、森田光夫  
 吉本正典 お問合せ等は会計幹事の岡田一郎<TEL 042-399-3232>まで。

## 俳 壇

|                              |      |                                |      |                                  |      |                                   |      |                               |      |                              |       |                               |      |                             |      |                               |     |                                |      |                                  |      |                                 |      |
|------------------------------|------|--------------------------------|------|----------------------------------|------|-----------------------------------|------|-------------------------------|------|------------------------------|-------|-------------------------------|------|-----------------------------|------|-------------------------------|-----|--------------------------------|------|----------------------------------|------|---------------------------------|------|
| 春雷や家路を急ぐ老夫婦<br>旧友に案内されたり奈良の春 | 幸田瑞雄 | 直角に曲がればそこは春の色<br>祝宴のプロローグなり春の雷 | 風間和夫 | 辛きことばかりでもなし春の雷<br>アルバム 我が若きかほ春の雷 | 大野恵峰 | 謝恩会和服のギャルのしずしずと<br>ろう梅や香りほのかに庭のすみ | 大西回生 | 地に咲いてからが本番落椿<br>空に鳴るでんでん太鼓春の雷 | 井垣稲雀 | 春の陽のくもりガラスに鳥の影<br>凍土に足音響く街灯り | 芦田火吐四 | 登校児の道まっすぐや春立ちぬ<br>春の雷なお一献の肴とす | 八木竜湖 | 白梅のこぼれる道や車椅子<br>春雷を雨とは聞かず旅衣 | 丸本北窓 | 残雪を水面に映し座禅草<br>デパートは春を揃へて客を呼び | 内藤慎 | 春雷や風つれ渡るひのき沢<br>ななそじもなお不安なり春の雷 | 高部糸行 | 年の豆食べあましるて二人かな<br>子にすべてまかせし旅の春帽子 | 高杉風至 | 風除けのしらがし高く難の家<br>風除けのしがらし誉めて難の客 | 菊田一平 |
|------------------------------|------|--------------------------------|------|----------------------------------|------|-----------------------------------|------|-------------------------------|------|------------------------------|-------|-------------------------------|------|-----------------------------|------|-------------------------------|-----|--------------------------------|------|----------------------------------|------|---------------------------------|------|



## 雑 記

岡原裕泰 (S39文)

昨年は病気再発の兆しを覚え、10月末から暮まで入院。私の意思というよりも家族に強引に放り込まれました。今回三度目の長期入院は、声を失うまでに至った喉を抉る大手術、放射線療法などとは較ぶべくもなく苦痛に満ちたものでした。化学療法というのですが、連続140時間に及ぶ抗癌剤を主とする点滴、その後体に蓄積された薬剤の効果を、体を相当痛めつける、徐々に現れてくる副作用を警戒しながら数週間見守る、これを二度繰り返しました。副作用の体験は聞きしにまさるものでした。食欲欠如、便秘、白血球の極端な減少(院内感染で死亡の主原因)、言いようのない全身を被う不快感、脱毛等々。しっかり通院し、医師にもあれこれ相談してきたのに、なんで……。悔やんでも仕方のないこと、この病気は完治しませんから。

“模範患者です”と女医さんに煽てられ、結果良好、新年からの通院を宣せられました。

遅くなりましたが本年もどうかよろしくお願い申し上げます。また早稲田125年の年、皆々様共々に祝したいと思います。

早稲田に入り早稲田を出でし追憶は老境にしていよいよ愉し

(早大70年祝賀4首中……土岐善磨)



## 坂の上の雲

丸本聡明（S 3 1 政経）

川土手の柳が淡い緑の芽を吹き、春の気配に身も心も和んでいる。古稀の里程標を後ろに歩んでいると、体力の衰えにやるせなくなる一方、人や自然や世の中が以前よりはっきりと見える楽しみもある。だから、本を読んでも、芸術に接しても、食事を摂っても新しい発見がある。経験による五感が、あらゆる現象の機微を捉えてくれるのである。

暮から立春にかけて司馬遼太郎の「坂の上の雲」を読んだ。「主人公は軍人の秋山好古・真之兄弟と近代俳句の創始者正岡子規」と聞いていたが、読み進むうちに、その説明は正鵠を得ていないことを知った。

ともかく、感動をもって読了した私は、あらためて司馬さんの小説家としての偉大さに打たれたのだった。あれだけのものを書くには、膨大な量の文献や資料を漁ったことだろうし、それを捌く筆力は見事と言うほかない。そして、なによりも心を揺さぶったのは、活字から押し寄せる「これを知ってほしい」という司馬さんの叫びだった。

「小説とは、人間と人生につき、印刷するに足るだけの何事かを書くというだけのもの」と司馬さんは片づけるが、この作品には、あの世紀の節目に生き、日露戦争に関わりながら人生を送った日本人、ロシア人などのものの考えが見事に描き分けられている。そして私が最も深く感銘を受けたのは、それら人間の中に見られる「志」の描写である。

これに登場する日本人の多くには志があった。あの時代、侵略を試みる大国ロシアを相手に、志を抱いて闘った人が構成する軍隊も、やがては官僚化され、それが取り違えられて、昭和の敗戦への道を歩むことになる。

80年代、バブルというまやかしを味わったあとは、惨めなほどに志は姿を消し、行政はじめ企業などにおける要人の醜態は、日々の報道に見られるとおりである。

わが早稲田の創立者の意図したのは、志をもった人間を育てることだった。その伝統を受け継ぐべき本学は、原点を忘れることなくその精神を養成し、日本再建のための人材を世に送らなければならないと思う。

坂の上の雲の題名は、理想を一片の雲にたとえ、それに届こうとして懸命に坂道をのぼった人たちの行動に由来する。私は志を求めて大隈講堂の時計台を仰いだ若き日を思い出し、この秋新装を現す時計台に、後輩が同じ夢を託してくれることを心から願っている。

### 同好会だより

#### カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071



2月例会は2月3日(土)に、場所をカラオケランドズーに変更して行いました。部屋のスペースも広くくつろいで楽しめました。

参加は芦田、井垣、高部、高鷺、南湖、山下、内藤の常連各氏それに久し振りの高橋女史と初参加の滝川夫妻と10名が集まり賑やかに楽しく節分の一夜を楽しみました。

3月予定:

3月3日(土) カラオケズー 19:00

4月予定:

4月7日(土) に行います。多数の参加をお待ちします。

## ウォーキングの会

世話人 高橋正夫 TEL 309-3407  
土橋雄次 393-5708



「渡来人の文化を伝える高麗神社」を訪れるウォーキングを下記要領で行いますので奮ってご参加ください。殆ど平坦地を歩きますので少雨決行、大雨の場合は翌25日。

1) 集合日時：3月24日（土）午前10時（時間厳守）  
10時07分出発

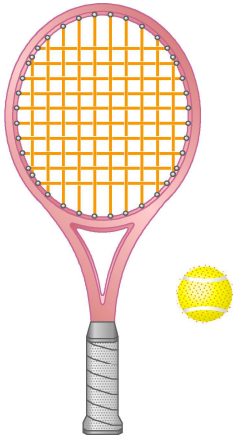
2) 集合場所：西武所沢駅、5番線ホーム中程

3) 行程：高麗駅—高麗石器時代住居跡—高麗神社—巾着田—  
高麗駅 8.5Km

参加費無料、但し昼飯、飲み物は各自持参、保険には入っていません。  
小雨の場合は高橋又は土橋に 当日朝 9時までにTEL で確認してください。

## テニス同好会

世話人 當間昭治 TEL 391-6023



2月の例会は12日（月）久米川コートで実施。参加者は井手、市川、田島、小菅、戸田、當間に當間の叔父が加わり7名、新年のスタートが雨で中止だったのをリカバーする様な穏やかな日和で、たっぷり2時間ダブルスで楽しみました。

3月と4月は下記の予定です。新人の方歓迎します。

記

日時 3月17日（土）午前11時～午後1時  
4月14日（土）午前9時～午前11時  
場所 両日とも久米川コート3

## ゴルフ同好会

世話人 堀田秀夫 090-8339-7179

@今年度第一回（第21回）会長杯ゴルフコンペのお知らせ

先月号でお知らせいたしましたように、今年度第一回の大会を狭山カントリー倶楽部で行います。参加される方は、4月7日までにお知らせください。

堀田 090-8339-7179まで

4月17日（火）（18日を予定しておりましたが、予約が取れませんでした。あしからずご了承ください。）

狭山カントリー倶楽部 入間市大字下谷ヶ貫492 tel 042-936-1321  
9:00から5組

料金（昼食費別）

70歳以上 14,000円（運転免許証など証明する書類が必要です）

65歳以上 16,000円（同上）

その他の方 21,450円

参加費・パーティ費・その他 約4,000円

組合せ、集合時間など詳細は、後ほどはがきでお知らせいたします。

@第二回会長杯ゴルフコンペは9月9日（日）西武園ゴルフで行います。





## 園芸の会

世話人 當 摩 照 夫・彰 子 TEL 396-3033

本年最初の例会は1月28日（日）に、20名もの多くの方の参加を得て、恒例のさくら草の芽とさぎ草の球根の交換会を、楽しく賑やかに行いました。今年は、ちょっと油断をして全滅させてしまった方、また何とか出来たけど自分の分で手一杯の方などもいらっしゃいましたが、大きく立派な芽や球根を誇らしげに持ち込まれた方も多く、指南役の藤澤さんからお褒めの言葉をいただき、皆さん大満足でした。今頃はきちんと植え付けられて、さくら草はもう芽が元気に伸びて来ていることと思います。

さて、次回は下記の予定で、そのさくら草の鑑賞会です。皆さん頑張って良い花を咲かせてください。



日 時： 平成19年4月12日（木） 午後2時～4時  
場 所： 當摩照夫・彰子宅  
東村山市多摩湖町2-14-3  
TEL 042-396-3033

なお、都合により会場が変更になりましたので、ご注意ください。

## 麻雀同好会

世話人 小 野 智 TEL 391-9523  
松 永 常 尚 332-5621

先にご案内の如く、平成19年春の麻雀大会を下記要領にて開催いたします。早いもので年4回の開催で今回で38回目になります。親睦とボケ防止のため、みんなで楽しく卓を囲みましょう。

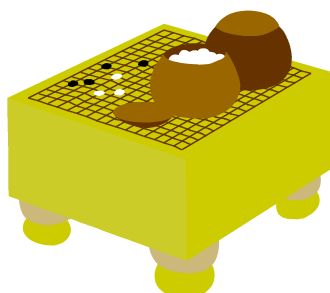


記  
日 時： 3月11日（日）  
集 合： 12時15分（時間厳守）  
開 始： 12時30分  
場 所： マージャンM TEL 397-5228  
本町4-12 アメニテイパレス B1F  
会 費： 7,000円  
申込締切： 3月8日（木）

（松永記）

## 囲碁同好会

世話人 野 村 保 夫 TEL 394-0417  
高 鷲 近 394-2336



### ●2月大会報告と4月例会のお知らせ○

●冬の第14回大会は、2月24日（土）市民センター別館第6会議室で、大会なので開始時間を30分早めて12時半から始まりました。○前回と同じA、B、C3リーグ方式で、各4名ずつの総当たり戦で行われ、Aリーグは中川7級、Bリーグは佐久間三段、Cリーグは田代四段が輝くリーグ優勝を果たしました。また連勝の中川氏は6級に昇級されました。4時半散会。

A、Bリーグ優勝者には後日優勝盾が贈られます。

参加者はA＝田島、杉山、中川、佐野

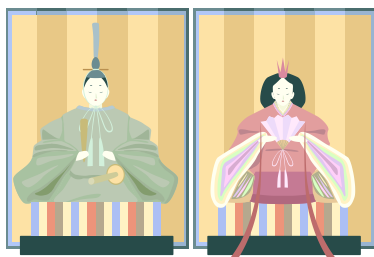
B＝江藤、細渕、佐久間、野村

C＝田代、高鷲、鈴木、福田 の計12名でした。

●次回例会は4月14日（土）午後1時から、第6会議室で開催します。

## 俳句同好会（稲酔会）

世話人

高 杉 修  
井 垣 和 太TEL 391-8447  
04-2924-2934

第30回「稲酔会」句会は、2月24日（土）午後1時から恩多ふれあいセンターでおこなわれました。参加者は、高杉風至、井垣稲雀、大西回生、大野恵峰、丸本北窓、内藤愼、に加え新規加入会員の芦田火吐四（均）、高部糸行（素行）計8名。投句参加は、風間和夫、幸田瑞雄、八木竜湖の3名。

合計11名の54句を3時間30分かけて、清記、選句、合評と真剣ななかにも和やかなうちに勉強を進めました。

兼題「春雷」の句が23句あり、風至世話人も驚くほどの佳句が沢山あり選に苦労するくらいでした。出席連衆8名の互選による高点句は大野恵峰さんの

辛きことばかりでもなし春の雷 恵峰

に決まりました。2名から特選に推奨されるという佳句です。

次回は4月28日（土）午後1時からおこなう予定です（場所未定）。

俳句を始めると、季節の移り変わり、周囲の自然の植物や鳥、虫などの生き物、そして行事、出来事など身の回りの様々な現象に目が開かれていきます。

皆さんも是非楽しい稲酔会（早稲田に心酔する人達の集まり）にご参加ください。

（稲雀記）

## 2月度「お誕生会」報告

HAPPY  
BIRTHDAY

担当幹事 芦田 均 393-7525

2月3日（土）17時から、役員を含む2月度お誕生の方10名、および三宅会長をはじめとする役員等12名、合わせて22名で、いつものとおり、割烹丸藤でお祝いをしました。

三宅会長のお祝いの言葉を皮切りに、當摩（彰子）副会長の乾杯の音頭に続き、尾島様の最近の風潮の話、佐藤様の、ご自身が書かれた本「にっぽん心中考」となぜ「心中」するのか、と言った興味深いお話。高橋様は3月にヒマラヤへ挑戦することや発足真近の同好会「歩こう会」（仮称）と積極的なかわりを持ちたいと、また、内藤様は学生時代の野球や当時の先輩著名選手について。長井様は学生時代のサッカーについて、また昨年1部に昇格だったので皆様の更なる応援をと、要望されました。

佐藤様ご寄贈の「にっぽん心中考」を含め、3点セットとして会長から記念品を、お祝いの言葉を添えてお一人ずつ手渡されました。引き続き、中国出張から前日帰られたばかりでご出席された原田様からは石炭の話と学生時代に南極に行かれた経験談を。東村山稲門会創立時から会員の樋地様は定年後に市のスポーツ活性化に精進され、審判の資格（1級）をとるにいたり指導にもがんばりたいと。また、福田様は囲碁7段、愛知への疎開の話に加え、タンチャメ（沖縄の歌）を愛嬌たっぷりにまた哀調を帯びて一気に歌い上げてくれました。さらに、昔の紀元節に誕生し、稲門会の会計幹事をされている岡田様は製薬会社をリタイア後も人材関連の会社でご活躍中とのこと。83歳になられた宮様には三井鉱山に勤務していた時、炭鉱での山猫ストライキで、現場監督として現場の人たちと厳しい折衝をしたご経験をざっくばらんに声高らかに話していただきました。

風間副会長から、皆様の健康を願っての閉会の言葉、さらに、井垣さん指導による東村山稲門会の歌、校歌と続き、元気みなぎる中での「お誕生会」でした。

出席者の皆様、一生懸命飲みかつお話をされ、本当にお疲れ様でした。また、佐藤様、「にっぽん心中考」の出席者全員へのプレゼントありがとうございました。



## 空堀川のセキレイ

南湖修一（S48商）

2006年（平成18年）は地球温暖化が話題となりました。冬になるとなおさらです。ニュースで全国各地での異常気象が報じられるようになりました。今年はどうかな？などと他人事のように考えている毎日です。うららかな天気にも誘われて、近くの空堀川沿いを散歩してみることにしました。東村山の商業地や住宅街を流れる川ですが、この空堀川にはカルガモやコガモなどのカモ類や、コサギ、ダイサギ、アオサギなどいろいろな野鳥が寒い冬を過ごしています。時には背のコバルトブルーと腹のオレンジ色とのコントラストが美しいカワセミや、珍しいササゴイを見ることがあります。今年の正月はことさら川原や川沿いの道端にセキレイの類が多くなったように感じました。だから東村山市の鳥はハクセキレイなのかな、なんて考えながらの散歩もおつなものです。

そもそもセキレイは水辺に近い平地を好む鳥です。川辺や湖沼、海辺などによく現われる野鳥です。一口にセキレイといっても、市の鳥ハクセキレイ、セグロセキレイ、キセキレイなどいくつかの種類があります。一般によく出現するのはハクセキレイです。顔と腹は白く、背中がグレーです。体長は平均して21cm前後で尾はやや長く、これを上下に振りながら川辺の地面や岩などで立ったり歩いたりしています。飛び方はスーイ、スーイと波を描きながら飛んでいます。このことを波状飛行といいます。この飛び方とピピッ、ヂヂッ、ピーチ、ビーチという鳴き声ですぐわかります。

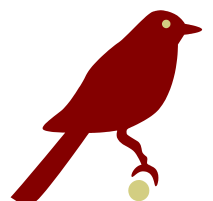
これに良く似ていますが、顔から背中にかけて真っ黒なのがセグロセキレイです。だからといってセキレイの仲間には人間と違って“腹黒い”ものはいないので、ハラグロセキレイというものはいません。セグロセキレイはジジッ、ジジッ、ジーピ、ジーピと鳴いています。

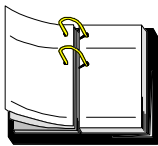
また良く注意して見ないと見分けが難しいのですが、ハクセキレイに似ていますが、背中がグレーがやや薄く白い腹に黄色身を帯びているセキレイが時々見られます。身体もハクセキレイやセグロセキレイよりほんの少し小柄です。これがキセキレイです。キセキレイはもともときれいな溪流の周辺で見かけるものですが、最近では街中の空堀川の川辺にも進出しているようです。ただ、軽井沢や上高地などの溪流にいるキセキレイの鮮やかさと比べると、空堀川周辺で見かけるのは腹の黄色が鈍く（薄く）なっています。やはり良い環境はきれいなキセキレイを造り出すのでしょう。キセキレイはフィフィチチ、フィーチとその鳴き声も他と比べると繊細で美しい声です。

ハクセキレイやセグロセキレイは空堀川でも頻繁に見ることができますが、キセキレイは運がよくないとダメです。ですからキセキレイに出会えた時は「ああ、今日は付いているな」と嬉しくなるものです。

このように野鳥の一種セキレイの仲間を見分けられるようになると身近の野鳥を見るのも楽しくなります。川辺の散歩をするにも、また違った興味が湧いてきます。

皆さんもぜひこういった眼で近くの“鳥”を見てやってください。必ずや日々の生活が一段と楽しくなること請け合いです。





### 今月の予定（3月）

- 3日（土） 3月度役員会  
雑学講座  
お誕生会  
カラオケ同好会
- 11日（日） 麻雀同好会
- 17日（土） テニス同好会
- 24日（土） ウオーキングの会

### 4月上旬の予定

- 1日（日） お花見会
- 7日（土） 4月度役員会  
お誕生会  
カラオケ同好会
- 12日（木） 園芸の会



## 編集局だより

編集局： 中村

○4月1日は稲門会のお花見ですね。私は一足早く花見を済ませました。本州一の早咲き桜と言われる河津桜です。ちょうど満開の時で、ピンク色の桜はじつにきれいでした。河津に滞在している友人を訪ねての気ままな旅でしたが、ここ数年はすっかり有名になっずいぶん多くの花見客でにぎわっていました。河津桜は開花の時期が長く一ヶ月近く咲いています。“しぶとく咲いていて散り際が潔くない”とは友人のご主人の弁です。長く咲いているのをよしとするも一瞬の桜を愛でるのも人それぞれ。あっという間に散ってしまうソメイヨシノですが、稲門会のお花見も満開を期待しましょう。

○次号の原稿締め切りは3月26日です。よろしくお願いいたします。

### 「東村山稲門会の歌」について

昨年このニュース誌上で歌詞の募集を致しましたところ、5名 井垣和太（37商）、井原徹（44法）、上原正行（53文）、大西幸夫（30理工）、八木勝利（47政研）の各氏よりご応募がありました。10周年実行委員会で相談し、當摩彰子（48教育）さんに編纂をお願いし、若干の修正の上、幹事会で最終的に決まりました。そしてボニージャックスの西脇久夫氏に作曲を依頼致しました。昨年11月25日10周年記念イベントのあとの定時総会において、ボニージャックスの皆さんに歌って頂き、ご出席の会員皆様方にご披露することが出来ました。

つきましては、会員の夏山一彦（48社学）氏が記念に制作された歌詞板（木製）を6人の方々にご寄贈頂きましたので、それぞれにお届け致しました。誌上をかりて夏山様に厚く御礼申し上げます。また今後は東村山稲門会の歌を永く愛唱して頂ければと期待致しております。

会長 三宅良太